

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

令和2年4月30日

宇部工業高等専門学校長 殿

私は、貴校に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、宇部工業高等専門学校が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が宇部工業高等専門学校の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
- ◆ 現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ	コウセン タロウ		入学年月	2016年4月入学	
	氏名	高専 太郎				
	生年月日	(西暦) 2000 年 7 月 12 日生 (19 歳)				
	現住所	〒 755 - 8555 山口 都道府県 宇部 市区町村 常盤台2丁目〇〇				
	所属 学科・専攻	機械工学科		学籍番号	12345	
	学年	5年	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼(昼夜開講を含む) <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信		
	過去に本制度の支援を受けた 学校名、期間(*)	(学校名)		(期間/月数) 年 月～ 年 月 / 月		
	過去に本制度の入学料減免を受けた ことがありますか。	ある ・ <input checked="" type="checkbox"/> ない				
	機構の給付奨学金に関する情報 (いずれかの□に✓印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。) ※予約採用の採用候補者は、機構からの通知のコピーを添付すること					
	<input type="checkbox"/> 予約採用の申込を行った者 【給付奨学金の申込の受付番号(採用候補者となっていれば登録番号、給付奨学生となっていれば奨学生番号)】					
<input checked="" type="checkbox"/> 在学(在学予約)採用の申込を行った者 【給付奨学金の申込の受付番号 (給付奨学生となっていれば奨学生番号)】			給付奨学金申請時にスカラネット入力下書き用紙に記入した 受付番号を記入			

申請者	国立高専機構における授業料免除制度への申請希望 (1) 申請希望 (あり ・ なし)
	<注意事項> ・対象者：経済的理由又は災害等による特別な理由がある者 ・別途、所得証明書等関係書類を提出する必要がある ・新制度による授業料減免額により、機構における授業料免除の申請を希望する場合は「あり」に○をつけてください
	以下、(1)でありに○をつけた方のみに適用 (2) 学期区分 <input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期
	(3) 申請区分 <input type="checkbox"/> 経済的な理由による申請【対象：5年生以上】 <input type="checkbox"/> 災害等による特別な理由による申請 学校記入欄 <input type="checkbox"/> 機構規則第109号第7条による申請 <input type="checkbox"/> 特別措置第2条第三項による申請
	国立高専機構が実施する授業料免除のうち 1. 経済的な理由による申請 2. 災害等による特別な理由による申請もしくは特別措置第2条第三項による申請 「あり」の場合 (2) 学期区分 ➡ <input type="checkbox"/> 前期 に✓ (3) 申請区分 ➡ 該当するものに✓
	(4) 申請理由 (具体的に記入すること) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>両親をはじめ同居をしている家族の状況を記入し、申請に至った理由を本人の立場で詳しく記入してください。</p> </div>
	※各種証明書類等は、各校が定める提出期限までに学生課窓口へ提出してください。
保護者	保護者 (主たる学資負担者) (申請者との続柄 母) 氏名 (自署) 高専 花子

記入例

提出日を記入してください

(様式1-1)

提出日 令和2年4月30日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

授業料免除申請書

宇部工業高等専門学校長 殿

署名は本人が行ってください。
学籍番号は不明の場合記入不要です。

学科・専攻等名 機械工学科

学年 5 年 学籍番号等 12345

申請者氏名(自署) 高専 太郎

保護者(主たる学資負担者)(申請者との続柄 母)

氏名(自署) 高専 花子

保護者住所及び電話番号

〒755-8555 Ⅱ0836 (35) ××▽□

宇部市常盤台2丁目〇〇

令和2年度(前期 / 前期及び後期 / 後期) 分の授業料を下記の理由により免除していただきたいので、許可くださるようお願い致します。

両親をはじめ同居をしている家族の状況を記入し、申請に至った理由を本人の立場で詳しく記入してください。

1. 申請理由(具体的に記入すること)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※前期申請時に前期分と後期分を一括申請したときでも、選考はそれぞれ各期ごとに行うため、前期と後期で選考結果が異なる場合があります。

※授業料免除の申請に伴う許可、不許可が決定されるまでの間は、その申請に係る授業料の徴収は猶予されます。

以下、4年生以上のみ回答してください。

2. 高等教育の修学支援新制度への申請状況

- 認定要件を満たさないため申請していない
- その他

2020年4月申請中

記入例

提出日を記入してください

(様式1-2)

令和2年4月30日

国立高等専門学校機構理事長 殿

高専名 宇部工業高等専門学校

2016年度入学

機械工 学科・ 専攻

第5学年

学生氏名(署名) 高専 太郎

保護者氏名(署名) 高専 花子

当てはまるものに○をつけてください

授業料免除申請書 (特別措置)

下記の理由により、令和2年度(いずれかに○印を付すこと：前期・前期及び後期・後期)の授業料免除の許可を受けたく、関係書類を添えて申請します。

記

【いずれかに○印を付すこと】

1. 学資負担者の死亡又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたため
2. 「高等学校等就学支援金」制度の36月の支給上限期間を超えていて、授業料免除の基準を満たしているため
3. 学資負担者の失職等により著しい家計の急変があったため
4. 私費留学生や帰国子女等のため、「高等学校等就学支援金」制度において、課税証明書が発行されない等の理由により加算が認められないが、授業料免除の基準を満たしているため

(3. 又は4. に該当する場合は、下記の記載欄に状況を詳細に記入してください。)

備考

- ① 関係書類として、学資負担者の死亡や風水害等のり災、失職等の事実内容を証明する書類(写)を添付すること。
- ② 「高等学校等就学支援金」制度又は「大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免」制度により授業料が支援される場合は、免除される金額は授業料の残額相当額とする。

記入例

提出日を記入してください

(様式2)

提出日 令和2年4月30日

※前期は4月1日、後期は10月1日現在の状況を記入してください。

全ての事項に「はい」または「いいえ」のいずれかで回答してください。
回答が「はい」の場合は提出書類欄を確認して、必要な書類を揃えてください。

家族状況等申告書

学科・専攻等名 機械工学科

学年 5年 学籍番号等 12345

免除等申請者氏名(自署) 高専 太郎

以下の事項について「はい」又は「いいえ」のいずれかを○で囲み、「はい」の場合は、提出書類を提出してください。
なお、この申告書により申請者の家族状況等を把握したうえで免除申請事務を行いますので、正しく記入してください。
※「ナンバ」の記載がない書類を提出してください。

項番	家族(生計を一にする世帯)状況等	回答	提出書類	発行機関等
1	給与所得者 ^{*1} がいる	はい・いいえ*	所得課税証明書(★「いいえ」でも申請者全員世帯全員分を6月以降に提出すること)	市区町村
2	年金(老齢年金・厚生年金、遺族基礎年金、障害者年金等)受給(4月、10月からの受給予定者を含む)者がいる	はい・いいえ	年金振込通知書(ハガキ)等の写(年金受給者全員分)	日本年金機構等
3	令和2年1月以降に就職又は転職した者がいる(パート等を含む)	はい・いいえ	給与支給(見込)証明書(様式3)	勤務先
4	申請前6ヶ月以内に退職した者がいる	はい・いいえ	退職及び退職金支給証明書(様式4) 退職金支給については、退職金所得の源泉徴収票(写)でも可	勤務先
5	雇用保険基本手当(失業給付)受給者がいる	はい・いいえ	雇用保険受給資格者証の写(受給額のわかるもの)	ハローワーク
6	雇用継続給付(高年齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付)受給者がいる	はい・いいえ	・高年齢雇用継続給付支給決定通知書の写(受給額のわかるもの) ・育児休業給付金支給決定通知書の写(受給額のわかるもの) ・介護休業給付金支給決定通知書の写(受給額のわかるもの)	勤務先又はハローワーク
7	免除申請者と生計を一にする者のうち、無収入かつ所得証明書または非課税証明書の発行ができない、または困難な事情がある者がいる(就学者、15歳未満、専業主婦等含む)	はい・いいえ	無収入申立書(様式5)	
8	児童扶養手当受給世帯 ^{*1}	はい・いいえ	児童扶養手当受給証の写(受給額のわかるもの)	市区町村役場
9	特別児童扶養手当受給世帯 ^{*2}	はい・いいえ	特別児童扶養手当証書の写(受給額のわかるもの)	市区町村役場
10	被爆者健康管理手当受給者がいる	はい・いいえ	被爆者健康管理手当証書の写(受給額のわかるもの)	市区町村役場
11	傷病手当受給者がいる	はい・いいえ	傷病金手当金支給決定通知書の写(受給額のわかるもの)	全国健康保険協会等
12	生活保護法による扶助費受給世帯	はい・いいえ	保護決定(変更)通知書の写(受給額のわかるもの)	福祉事務所
13	児童手当(旧子ども手当)受給世帯 ^{*3}	はい・いいえ	児童手当認定通知書の写(受給額のわかるもの)	市町村役場 ※公務員の場合は勤務先
14	事業所得 ^{*4} により収入を得ている者がいる	はい・いいえ	確定申告書(控)の写(事業所得のある方の全員分) ※所得証明書と同じ年度のもの	税務署
15	転作奨励金等の交付を受けている者がいる	はい・いいえ	所得補償交付金等、転作奨励金の支給額がわかるもの	農協・市区町村役場
16	申請前6ヶ月以内に保険金を受け取った者がいる	はい・いいえ	保険金支払い通知書の写	保険会社等
17	申請前6ヶ月以内に資産の譲渡を受けた者がいる	はい・いいえ	確定申告書(控)の写又は売買契約書の写	税務署
18	申請前6ヶ月以内に山林所得があった者がいる	はい・いいえ	確定申告書(控)の写又は売買契約書の写	税務署

19	申請前6ヶ月以内にその他の臨時的所得があった者がいる	はい・いいえ	受領額がわかるもの	税務署
20	親戚・知人等からの援助や養育費等を受けている世帯	はい・いいえ	援助者等の署名押印による援助額の年額を記載した申立書(様式任意)	援助者等 ※援助者等による署名押印が困難な事情がある場合は保護者
21	令和元年度に申請者が給付型の奨学金を受給している	はい・いいえ	奨学金決定通知書の写(申請の前年度1年間に実際に受けた額がわかるもの、申請年度の受給(見込)額がわかるもの)	給付者等
22	母子・父子世帯等	はい・いいえ	母子・父子世帯等申出書(様式6)	
23	申請者(学生本人)の他に就学者がいる	はい・いいえ	在学及び就学状況等証明書(様式7) ※兄弟等が小中学校児童生徒、本校学生の場合は不要	就学者のいる学校
24	障害者(申請者本人を含む)がいる、または要介護3以上の認定を受けている者がいる	はい・いいえ	・身体障害者手帳等の写 ・介護保険被保険者証の写	
25	申請時において6ヶ月以上にわたり療養中若しくは療養を要する者がいる(介護保険法により、要介護認定を受けている者がいる世帯を含む)	はい・いいえ	・長期療養者に係る支出(見込)額等申立書(様式8) ・医師等の証明書 ・申請前6ヶ月間に経常的に支出している金額を証明できるもの(領収書等) 高額療養費制度等、健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額がある場合はその金額がわかるもの	・病院等 ・看護人 ・薬局 ・介護サービス提供事業者
26	主たる学資負担者(家計支持者)が別居している世帯	はい・いいえ	・主たる学資負担者(家計支持者)別居に係る支出(見込)額等申立書(様式9) ・直近3ヶ月間の家賃及び光熱水道費の金額を証明できるもの(領収書等)	
27	授業料納付期限前6ヶ月(新入生は1年)以内に学生若しくは学資負担者が風水害等の災害 ^{※5} 、盗難等の被害を受けた世帯	はい・いいえ	罹(被)災証明書又は盗難届の証明書(届出受理番号等) ・日常生活の必需品に被害を受けた場合は、最低限度の衣料、家具の購入費、修理費等(生活必需品に限る)に関する領収書等 ・生産手段(田・畑・店舗等)に被害を受けた場合は、長期にわたって収入源を予想される年間金額及びその事実がわかるもの	消防署・市区町村役場又は警察署
28	授業料納付期限前6ヶ月以内(新入生については入学前1年以内)に学資負担者が死亡した世帯	はい・いいえ	戸籍(除籍)謄本又は死亡を証明する書類	市区町村役場等

※1 父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子供が育成される家庭に支給される手当

※2 20歳未満で精神又は身体に障害を有する児童を家庭で看護、養育している父母等に支給される手当

※3 支給条件等は厚生労働省のホームページ等で確認してください。

※4 ①商業、工業、農・林業、漁業、その他の職業(開業医、弁護士、著述業、公認会計士、税理士、外交員、浴場業、理美容業、旅館業、クリーニング業等)に在る所得及び②利子、配当、家賃、間代、地代などの雑所得

※5 震災、風水害、火災その他の災害

II 家族（生計を一にする世帯）及び所得について記入してください（主たる家計支持者の続柄に○を付けてください）

続柄	氏名（年齢）	職業	給与所得 ^{※1}	給与所得以外の所得 ^{※2}	就学者のみ記入			
					学校種	学校名	学年	通学区分
本人	高専 太郎（19）	高専学生	千円	千円	国立	宇部工業高等専門学校	5年	自宅 自宅外
○母	高専 花子（42）	会社員	3000					
祖父	高専 次郎（72）	無職	400					
祖母	高専 トキ（70）	無職	400					
兄	高専 吾郎（20）	大学生	300		私立	東京技術工業大学	2年	自宅外
妹	高専 春子（14）	中学生			公立	宇部第一中学校	3年	自宅
計			4100 千円	千円				

※1 俸給、給料、賃金、歳費、年金、恩給、賞与及びこれらの性質を有する給与等（扶助料、傷病手当金等を含む）の合計額（税込、千円未満は切り捨て。複数ある場合は、千円未満を切り捨てた後に合計。）。

※2 商業、工業、農・林業、漁業、その他の職業（開業医、弁護士、著述業、公認会計士、税理士、外交員、浴場業、理美容業、旅館業、クリーニング業等）による所得、利子、配当、家賃、間代、地代などの雑所得、退職（一時）金、保険金、資産譲渡所得、山林所得等の臨時所得、親戚・知人等からの援助や養育費等、本人奨学金（給付型）などの合計額（千円未満は切り捨て。複数ある場合は、千円未満を切り捨てた後に合計。）。

以下 学校記入欄

特別の事情	特別控除額
①母子・父子世帯	千円
②就学者のいる世帯	千円
③障害者のいる世帯	千円
④長期療養者のいる世帯	千円
⑤主たる学資負担者（家計支持者）が別居している世帯	千円
⑥火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯	千円
⑦父母以外の者で収入を得ている者のいる世帯	千円
⑧本人を対象とする控除	千円
計	千円